



ちかっ



★教育目標★
志高く、確かな目標をもち、
自己を磨く、しなやかな子どもの育成

文責：校長 鈴木雅人

夏休み終了 前期後半へ



前期終了まで残り登校31日

22日(木)より夏休み明けの授業が始まりました。

夏休み中、大きな事故ケガが無く、元気に子どもたちが学校に戻ってきてくれたこと、保護者の皆さんに感謝申し上げます。夏休み明けの全校集会では、私から「命を落とさず元気に学校に戻ってきてくれたことはとても素晴らしい。」という話をしました。まさにそのとおりで、あつてはならないことが、起こらずに夏休みを終えられたことは、何よりもありがたいことです。

二学期制の棚倉町内の小学校では、夏休み明けは2学期ではなく、前期の後半という位置づけです。本校では、半期をまた半分に区切って、四半期制でのキャリアパスポートの振り返りを行っています。夏休みは第2四半期中の長い休みで、なりたい自分になるために家庭で努力する期間であったということです。夏休み中の子どもたちのご家庭での様子はいかがでしたか？少しでも努力する姿がありましたか？きっと色々な場面で頑張っている姿があったのではないのでしょうか。

22日(木)の登校初日は、全校集会を行い、宿題の確認や夏休みの様子の発表などを行った後、通常授業が行われ徐々に日常に戻った感がありました。前期終了までの登校日は31日、子どもたちの元気な声に戻った学校で、子ども達がなりたい自分に向かって充実した学校生活を送れるよう、職員一同一丸となって頑張っていきます。よろしくお祈りします。

夏休み明け全校集会

22日(木)の全校集会では、七夕展金賞の3年佐藤朱莉さん、4年石井心陽さん、5年金澤芹奈さん、6年陣野楓果さんを表彰した後、校長の話をしました。



校長の話では、上記のとおり大きな事故やけががなく夏休みを過ごせたことの喜びと、「前期後半は33日しか学校に来る機会がないので、第2四半期の自己目標達成のために意識をもって頑張るように。」という話をしました。努力していることを認めてもらって、嬉しい喜ばしい機会がたくさんあることを願っています。長期休業後でも、子ども達の聞く姿が年度当初よりしっかりしていて素晴らしいのに驚かされました。とても良いスタートが切れました。

150周年記念の体育館ステージ袖幕完成

体育館のステージの両脇に下がっているえんじ色(濃い紅色)の幕が、だいぶ損傷していたため、このほど一番前と一番後ろの幕を新しく作成しました。近津部分林組合様と近津商店会様から頂いた浄財を使わせていただきました。これをもって、150周年記念事業がすべて完了しました。ありがとうございました。



○編集後記(校長のつぶやき).....

○夏の甲子園、今年は熱中症対策で試合開始時刻の工夫もなされていました。時代とともに甲子園も変化していきますね。熱い戦いは変わりませんが…。この夏休み、近津小の子ども達もいろいろなスポーツで熱い戦いをしていたようです。何でも熱中することは素晴らしい！！でも熱中症には注意です。○ゲリラ豪雨とは、誰が名づけたんだろう？昔は、午後入道雲が出てくると、「そろそろ夕立が来るかも」という話をしていたものですが、今は、いつ、どこで雨が降るか予想がたい感じです。しかも、昔の夕立には、風情がありました！熱い地面に雨が降り注ぎ、植物も動物も喜んでいる感がありました。カエルもビョンビョン跳び跳ねて…。そんな感じがあった夕立でした。でも今じゃ、恐怖を感じるほどの降り…。まさにゲリラ豪雨。風情ではなく、自然の怒りを感じます。地球温暖化のせい…。そうしたのは人間だぞ！！と言わんばかりに強く降る雨。「地球環境保全」、大切です。でもこの夏休み、車でたくさん遠出して、二酸化炭素をたくさん輩出していた自分がここにいました…。う～ん、地球環境保全は難しい。そんなことを思った夏でした…。